

令和6年度事業報告

(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

第1 協会の管理運営

(1) 総会及び理事会の開催

- ① 第92回理事会・第46回通常総会を次のとおり開催した。

日 時 令和6年5月27日(月) 午前11時00分から

場 所 金沢東急ホテル

出席者 理事会 出席者 31人(委任状提出者を含む)

総 会 出席者 207人()

議 案

議案第1号 令和5年度事業報告及び収支決算について

議案第2号 令和5年度剰余金の処分について

議案第3号 令和6年度事業計画について

議案第4号 令和6年度収支予算について

議案第5号 役員を選任について

議案第6号 新規会員加入について

- ② 第93回理事会を次のとおり開催した。

日 時 令和7年3月24日(月) 午後5時30分から

場 所 金沢東急ホテル

出席者 理事会 31人(委任状提出者を含む)

議 案

総会提出議案について

議案第1号 令和6年度収支補正予算について

議案第2号 令和7年度事業計画について

議案第3号 令和7年度収支予算について

(2) 会員の加入について

2号会員 計12事業所

有限会社林鉄工 代表取締役 林 上司 小松市坊丸町甲235番地

吉田メッキ工業株式会社 代表取締役 吉野 正洋 小松市白江町ト128番地

株式会社三光製作所 代表取締役社長 建部 大介 白山市長屋町口27-1

株式会社ハイテクス 代表取締役 桶谷 善徳 小松市大領町な4番地1

賀谷ゼロファン株式会社 代表取締役社長 賀谷 壮佑 白山市横江町1214番地4

株式会社COMPASU 代表取締役 川原 辰之助 金沢市無量寺1丁目67番地

オレオウ・ベトナム事業協同組合

代表理事 中野谷 井助 金沢市昭和町16-1 ヴィサージュ15階

株式会社レゾナック・オートモーティブプロダクツ関西事業所

製造部長 林 浩二 能美市中町ソ100番地

馬場化学工業株式会社 代表取締役 馬場 貢 金沢市かたつ12番地

株式会社三陽製作所 代表取締役 海道 翼 金沢市打木町東1336番地

株式会社コマテック 代表取締役 吉田 行宏 小松市串町工業団地1番地2

富士MF G株式会社 代表取締役 宮下 和則 能美市赤井町は195番地

令和7年5月21日現在 1号会員 9事業所

2号会員 256事業所

計 265事業所

第2 職業訓練振興関係事業

(1) 職業能力開発推進事業

① 職業能力開発推進者経験交流プラザ

企業の教育担当者等に対して人材不足の解消として求められる働き方改革の実現に繋がる女性・高齢者・外国人のための職場環境整備について講演及び企業の事例発表を行った。

日時 令和6年11月8日(金) 13:30~16:30

場所 ホテル金沢「アプローズ」

参加者 33人

内容

- ・講演「多様性のある社員が会社を支える」

講師 日高工業株式会社 代表取締役会長 今村 順 氏

- ・事例発表「エンゲージメント向上のために」

賀谷ゼロファン株式会社 管理部 部長 田中 利充 氏

「現状維持からの脱却」

株式会社ハイテクス 代表取締役 桶谷 善徳 氏

(2) 講習会等

① 職業訓練指導員講習(48時間講習)

職業訓練を担当する者を対象に職業訓練を指導する必要な知識について講義を行い職業訓練指導員免許の取得を図ることを目的に実施した。

日時 令和7年1月15日、16日、17日、22日、23日、24日

場所 石川職業能力開発促進センター

受講者 15人

② 監督者訓練講習

実施団体 丸井織物株式会社

受講者 5人

(3) 階層別研修

① 新入社員研修

実施日 令和6年4月9日(火)～10日(水) 参加者数 21人

② 中堅社員研修

実施日 令和6年6月5日(水)～6日(木) 参加者数 7人

③ 管理職研修

実施日 令和6年5月17日(金) 参加者数 11人

④ 新入社員フォローアップ研修

実施日 令和6年9月20日(金) 参加者数 23人

(4) 第51回石川の技能まつり

令和6年10月20日(日)、イオンモール白山及び石川職業能力開発促進センターにおいて開催された「第51回石川の技能まつり」に参加した。

当日は、会場内に協会としてブースを設置し、技能検定や若年技能者人材育成支援事業（ものづくりマイスター等）等のPRを行ったほか、技能検定実施功労者及び職業訓練事業推進功労者等の表彰を行った。

(5) 技能五輪全国大会

第62回技能五輪全国大会が、令和6年11月22日(金)～11月25日(月)の4日間、愛知県の「愛知県国際展示場」をメイン会場に開催された。23歳以下の若年技能者の日本一を競う大会であり、石川県からは建築大工1名、配管3名、左官1名、日本料理2名の計7名が出場。日本料理で1名が銅賞、配管、左官、日本料理でそれぞれ1名が敢闘賞、計4名が受賞した。

(6) 若年者ものづくり競技大会

第19回若年者ものづくり競技大会が令和6年7月31日(水)～8月1日(木)の2日間、群馬県の「Gメッセ群馬」をメイン会場に開催された。20歳以下の若年技能者の日本一を競う大会であり、石川県からは、電子回路組立て1名、建築大工1名の計2名が出場した。

第3 職業能力検定関係事業

(1) 技能検定試験の適正な実施

- ① 技能検定委員等への説明会の実施（前・後期1回実施）
 - ・厳正公平な試験の実施指導
 - ・検定委員・補佐員の役割と試験に関する守秘義務の徹底
 - ・試験の実施要領、採点基準の確認等
- ② 技能検定試験の円滑・効率的な運営
 - ・産業技術専門学校、工業高校等との連絡会議の実施
 - ・各検定関係団体との密接な連携
 - ・技能検定委員との詳細な打合せの実施

(2) 技能検定試験の周知

技能検定試験の前期・後期に受検案内及びポスターを作成し、協会会員、その他の関係企業、関係団体等に配布した。（案内書4,300部、ポスター800部）

(3) 技能検定試験の実施状況

- ① 一般（特級、1級、2級、3級 単一等級） 後期
実技試験と学科試験により、職種ごとに試験を実施した。

等級	前 期			後 期			合 計		
	受 検 申請者	合格者	合格率	受 検 申請者	合格者	合格率	受 検 申請者	合格者	合格率
特 級	— 人	— 人	— %	166 人	71 人	42.8 %	166 人	71 人	42.8 %
1 級	521	262	50.3	356	163	45.8	877	425	48.5
単一等級	14	5	35.7	0	0	0	14	5	35.7
2 級	565	316	55.9	474	231	48.7	1,039	547	52.6
3 級	334	261	78.1	496	368	74.2	830	629	75.8
計	1,434	844	58.9	1,492	833	55.8	2,926	1,677	57.4
実施職種	37 職種 60 作業			33 職種 39 作業 特級 13 職種			57 職種 89 作業 特級 13 職種		

※五輪予選除く

② 随時2級、3級、基礎級

外国人技能実習生を対象に随時に実施する2級、3級、基礎級の試験を実施した。

区 分	国 名	受検申請者
随 時 2 級	ベ ト ナ ム	112 人
	中 国	26
	ミ ャ ン マ ー	14
	フ ィ リ ピ ン	16
	イ ン ド ネ シ ア	17
	タ イ	4
	カ ン ボ ジ ア	8
	モ ン ゴ ル	3
小 計		200
随 時 3 級	ベ ト ナ ム	379
	中 国	66
	ミ ャ ン マ ー	31
	タ イ	16
	フ ィ リ ピ ン	59
	イ ン ド ネ シ ア	77
	カ ン ボ ジ ア	5
	モ ン ゴ ル	6
小 計		639
基 礎 級	ベ ト ナ ム	437
	イ ン ド ネ シ ア	226
	フ ィ リ ピ ン	88
	ミ ャ ン マ ー	101
	中 国	70
	バ ン グ ラ デ シ ュ	37
	タ イ	24
	モ ン ゴ ル	7
	カ ン ボ ジ ア	30
	ラ オ ス	4
小 計		1,024
合 計		1,863

(4) 県技能競技大会の実施

技能競技大会は、技能五輪全国大会の予選を兼ね、技能検定実技試験にあわせて実施した。

参加職種	前 期	後 期	計
建 築 大 工	0	1	1
合 計	0	1	1

(5) 技能検定特級・1級技能士フォローアップ講習会

下記職種の技能士に対して、最近の技法や業界の振興策等についての講習会を実施した。

作業名	参加団体名	受講者数
建築配管	職業訓練法人管協会	35
和服製作	石川県和裁師組合	18

第4 表彰

(1) 技能検定実施功労者表彰（11人）

氏名	所属	氏名	所属
田中 敏宏	株式会社板尾鉄工所	清水 誠	日本塗料商業組合石川県支部
加田 義満	(職)管協会	土井 忠男	石川県プラスチック成型加工工業(協)
小坂 陽秀	(社)石川県左官業組合連合会	今井 健	小松製作所栗津工場
小林 昌宏	小松製作所栗津工場	森 順二	石川県鳶土工業連合会
高本 義臣	石川県塗装工業会	東山 崇	長津工業株式会社小松西
位守 敏弘	石川県板硝子商工(協)		

(2) 越馬技能奨励賞表彰（7人）

氏名	所属	氏名	所属
浅井 雪帆	昌和管工株式会社	山田 昂	株式会社加賀屋
隅 優斗	中橋タイル株式会社	大門 洋介	能登九十九湾 百楽荘
浅加 慈有	喜多ハウジング株式会社	西島 義人	株式会社加賀屋
菊池 海斗	とこ toco		

第5 広報活動関係

(1) ホームページの積極的活用

技能検定、各種講習会・セミナー情報、その他協会事業に関する情報の迅速な配信、充実を図った。また、個人や組織など誰でも参加できるフェイスブックを活用し、協会事業の情報配信、文字情報をリアルタイムに発信した。

(2) 協会機関紙「能力開発いしかわ」の発行

機関紙「能力開発いしかわ」を年1回発行し、業務の広報、会員の加入促進、検定試験受検者の確保を図った。(年1回発行7月)

(3) 関係図書等の頒布

希望者に対して技能検定テキスト及び過去問題等を一部有料で頒布し、能力向上に有効活用した。

第6 職業能力の評価認定事業（協会自主事業）

(1) コンピュータサービス技能評価試験

コンピュータを活用した各種のサービスを行う能力を評価する試験を実施した。

協会実施分

前期（令和6年6月29日（土））、後期（令和6年11月30日（土））実施

一般募集

部 門	区分 級別	前 期			後 期			合 計		
		受 験 申請者	合格者	合格率	受 験 申請者	合格者	合格率	受 験 申請者	合格者	合格率
ワープロ	1級	1 ^人	0 ^人	0.0%	1 ^人	0 ^人	0.0%	2 ^人	0 ^人	0.0%
	2級	1	1	100.0	1	1	100.0	2	2	100.0
	3級	3	3	100.0	0	0	0.0	3	3	100.0
表 計 算	1級	1	0	0.0	0	0	0.0	1	0	0.0
	2級	6	3	50.0	4	3	75.0	10	6	60.0
	3級	6	5	83.3	1	1	100.0	7	6	85.7
情報セキュリティ	単一級	13	13	100.0	7	5	71.4	20	18	90.0
合 計		31	26	83.9	14	10	71.4	45	35	77.8

認定施設（47施設）

部 門	級別	受験申請者	合 格 者	合 格 率
ワープロ	1級	1 ^人	1 ^人	100.0%
	2級	219	181	82.6
	3級	441	413	93.7
表 計 算	1級	5	1	20.0
	2級	243	206	84.8
	3級	400	372	93.0
情報セキュリティ	単一級	42	38	90.5
合 計		1,351	1,212	89.7

登録施設（2施設）

部 門	級別	受験申請者	合 格 者	合 格 率
ワ ー プ ロ	1 級	0 人	0 人	0.0 %
	2 級	1	1	100.0
	3 級	10	10	100.0
表 計 算	1 級	0	0	0.0
	2 級	0	0	0.0
	3 級	1	1	100.0
合 計		12	12	100.0

(2) ビジネス・キャリア検定試験

人事・人材開発、経理、経営戦略など、多岐にわたるビジネス部門を広く網羅し職業能力評価基準に準拠した人材に、求められる実務能力を評価する検定試験を実施した。

前期（令和6年10月6日） 後期（令和7年2月16日）

	級 別	申 請 者	受 験 者	合 格 者	合 格 率
前 期	1 級	1 人	1 人	0 人	0.0 %
	2 級	119	97	34	35.0
	3 級	167	152	60	39.4
後 期	2 級	122	107	55	51.4
	3 級	211	189	56	29.6
	BASIC 級	6	6	5	83.3
合 計		626	552	210	38.0

第7 受託事業（厚生労働省）

(1) 若年技能者人材育成支援等事業

若者のモノづくり離れが見られる中、若者が進んで技能者を目指す環境の整備や産業の基礎となる高度な技能を有する人材育成が今日の最大の課題となっていることから若年技能者の人材育成、技能尊重の機運を高めることを目的に実施した。

① 地域における技能振興

- ・技能五輪全国大会の予選の実施

「日本料理」 令和6年能登半島地震の影響により中止

② ものづくりマイスターの認定・登録

- ・ものづくりマイスターの開拓

ものづくりマイスター登録者数14人

- ・新規認定マイスターに対する研修会の開催

1回目 令和6年8月16日 3名

2回目 令和7年2月22日 9名

③ ものづくりマイスターの活用

- ・ものづくりマイスターの派遣による実技指導

企業や工業高校等からの要請に基づき、ものづくりマイスターを派遣し、実技指導を行った。

対象者	受講者数(人日)
企業及び業界団体	684人日
高校以上の学校	2,581人日
計	3,265人日

- ・出前ものづくり体験教室

ものづくり体験等を通じて、広く一般に技能の重要性・必要性への理解を促進するとともに、技能者尊重気運の醸成を図る取り組みを行った。

・公民館、児童館等への派遣指導 304人日

・イベントエリア等への派遣指導 314人日

- ・出前ものづくり講座

若者の技能離れ、ものづくり人材の不足に対応するため、教育機関関係者、学生生徒、保護者等に対してもものづくりの魅力を発信して理解を深める取り組みを行った。

ア. 学校の授業等へのものづくりマイスターの講師派遣 46校 2,799人日

イ. 学校の教師を対象とした「ものづくりの魅力」講座等へのものづくりマイスターの講師派遣 45校 150人日

ウ. 学生生徒の保護者を対象とした「ものづくりの魅力」講座等へのものづくりマイスターの講師派遣 6校 107人日